

**【答】** 松くい虫防除のための農薬空中散布は、山手・清音地区の福山の松を守るため、合併後2年間は実施することが合併協議で決まっております。有機リン系農薬を使用している。実施に伴う住民への周知は、関係地区の方にチラシや放送で行っており、影響等については、飛散調査、地元要望による水質調査を実施している。県でも実施時期を決めて調査しているが、現在のところ健康への被害報告は受けていない。今後においてはできるだけ空中散布を自粛し、どうしても実施する必要がある場合には、有機リン系以外のものを使用したい。

**【問】** 松くい虫防除以外の無人ヘリコプターでの散布は、3地区の営農組合で実施しているが、有機リン系以外の農薬が使われている。(市長)

澁江 文男

少子高齢化問題に対する取り組みについて

**【問】** 本市の高齢化の状況と今後の見通しについて、国、県、他都市と比べてどのようにとらえているか。子ども課を設置した効果と今後の活用についてどのよう考えているか。保護者や地域に信頼される学校づくりや幼児教育における親の育児力向上のための支援について、これまでの取り組みと今後の方針はどうか。

**【答】** 現在の高齢化率は国総社市20・5%であり、今後もこの比率が高まると考えている。子ども課の設置により、支給手続き等の一元化、母子保健事業や子育て支援をトータル的に実施できるようになった。さらに子ども達が健やかに育つ過程を総合的に支援できるよう努力したい。

**【問】** 高年齢者の生きがい対策等法と支援策についてはどうか。

**【答】** 7月豪雨は勤務時間外におけるダム放流情報の連絡体制、各課の情報収集と初動対応に課題があったとの反省から、国・県、ダム管理者との連絡体制の再確認を行った。また、被害を被った作原地区の抜本的排水対策を要望するとともに、清音地区の漏水調査を行っている。自主防災組織については、自治組織活性化補助金のメニューを拡大して補助するとともに、組織立ち上げについて職員を派遣したい。(市長)

大熊 公平

防災対策について

**【問】** 7月19日の豪雨災害は合併後初の大規模なものであったが、その対策が十分であったかどうか検証が必要ではないか。何時どこで起きるか分からないのが最近の局地的集中豪雨の特徴である。備えあれば憂いなし。市内各地区で自主防災組織を立ち上げて恒常的、日常的に危機意識を持つことが必要だが、その方

ホームページについて

**【問】** 自治体ホームページの役割は、(暮らしの情報提供)、(図書検索サービスなどサービス提供)、(意見募集、電子掲示板など双方向性を生かしたコミュニケーション機能)など大きいものがある。昨年、改善点について質問したがその対応はどうか。今以上に使いやすいものになれば行政の総

**【答】** 昨年10月議会での指摘を受け、アクセスカウンターを表示改善を行った。リンク表示改善を行った。合わせてトップページのデザイン変更など、できることについては随時更新処理を行っている。また、一層の充実を図るため、ホームページの作成にリーダー的役割を担うホームページ推進員を各課に1名配置した。さらにソフトのバージョンアップを計画している。

神崎 干

公用車の管理について

**【問】** 行政改革大綱実施計画の中に、市の公用車を全車一斉に、リース車に転換するリースバック方式を

導入すると掲げているが、現在の公用車台数と維持管理経費はどうなっているのか。この方式を導入した場合、維持管理経費をどれくらい削減できるのか。また毎日外へ出る職員には、職員から借り上げてレンタル化することも考えてはどうか。

**【答】** 本市の公用車は全体で236台、消防車両を除くと166台である。燃料費や修繕費等維持管理経費は約6千万円である。このうち、23台を財政課で集中管理、残りは各課や出先機関が管理している。リースバック方式を導入した場合、経費の削減や効率的な使用等が可能となることから、導入に向けて調査研究している。出先機関で公用車を配置できない施設については、個人の車を借り上げ対応している。(市長)

加藤 保博

救急医療施設について

**【問】** 市長就任以来、医療施設の規模、概要は幾度となく変わってきている。現在計画中の医療施設は医師会の全面的な協力が不可欠であり、運営は地元医師会を中心をお願いしたいというのであった。医療施設計画審議監はこの1年間のどのような活動をしたのか。

**【答】** 医療施設計画審議監は、吉備医師会や関係者との交渉事等でよくがんばっている。医師会とは現在協議中であり、若干時間がかかるが御理解願いたい。医師の中には、総社市のために協力してもよいと言われる方もおられる。施設については、市民の御意向を聴くとともに、概要等については、年内には広報紙を通じて市民に周知したい。(市長)

地場産業の育成と支援について

**【問】** 紀文食品総社工場が来年4月操業を開始することに伴い、従業員数は約300人、採用は150人程度と聞いている。職種別の採用人数を把握しているか。また、今後の採用計画はどのようになるのか。

**【答】** 採用については、現在募集中であり、その後採用試験を経て決定すると聞いている。今後行われるものについては、新卒高校生の



建設が進む紀文食品総社工場



総社駅の放置自転車

医師会との協議はどこまで進んでいるのか。また計画している施設について市民に周知されていない。周知すべきではないか。

**【答】** 医療施設計画審議監は、吉備医師会や関係者との交渉事等でよくがんばっている。医師会とは現在協議中であり、若干時間がかかるが御理解願いたい。医師の中には、総社市のために協力してもよいと言われる方もおられる。施設については、市民の御意向を聴くとともに、概要等については、年内には広報紙を通じて市民に周知したい。(市長)

放置自転車について

**【問】** 市内の各駅の周辺、公社駅付近では、広場の正面右側に自転車山積みとな

っており、見苦しい状態である。放置自転車は個人の所有物であり、市が勝手に処分することはできないが、条例をつくって効果を上げている自治体もある。本市においても、強い気持ちで条例を制定して対処していく時期がきているのではないか。

**【答】** 駅周辺や市役所駐輪場には多くの放置されている自転車があり、これらについては施設維持担当課において警告書を添付するなどの対策を講じているが、完全に排除するには至っていない。先進自治体の自転